

令和 6 年 6 月 13 日

長崎市議会議長 毎熊 政直 様

請願者 住 所 長崎県長崎市元船町 5-11-1F
団体名 長崎民主商工会
会長 徳永 隆行



紹介議員

大石 ふみ子



消費税インボイス制度の廃止を求める請願書

【請願趣旨】

昨年 10 月から消費税インボイス制度（適格請求書等保存方式）が開始されて、免税事業者は、今年初めての消費税確定申告と納税を迎えました。「インボイス制度を考えるフリーランスの会」が、2024 年 3 月 22 日から 4 月 5 日にかけて WEB において行った実態調査では、7000 人を超える事業者から回答が集まり、91.9%の「インボイス制度の見直し・中止」を望む声が上がっています。消費税の負担・価格の転嫁については、インボイス登録事業者の 6 割が「負担軽減措置のある間に対応できるが、その後の目処がたたない。」「負担が大きく、事業が成り立たなくなりそうだ。」などと回答し、将来に不安を抱える事業者が出ていることが浮き彫りになりました。長崎民主商工会の免税事業者の会員からも「元請から言われて仕方なく登録したものの、消費税を払えず、どうしたらいいか。」「インボイスを登録すると、免税事業者でも消費税の納税が発生するとは思わなかった。」など、消費税納税への不安の声やインボイス制度への理解がまだまだ不十分であることが洗い出されました。

物価上昇の影響による節約志向で消費が低迷している中でのインボイス制度は、中小企業の経営を圧迫し、景気回復を妨げる要因であり、消費税インボイス制度は速やかに廃止すべきであると思います。

新型コロナ危機を克服し、新しく構築すべき経済・社会においても、地域に根ざして活動する中小業者の存在は不可欠であります。

以上の趣旨から請願いたします。

【請願事項】

1, 消費税インボイス制度の廃止を求める意見書を政府に提出して下さい



意見書（案）

消費税インボイス制度の廃止を求める意見書

昨年10月から消費税インボイス制度（適格請求書等保存方式）が開始されて、免税事業者は、今年初めての消費税確定申告と納税を迎えました。『インボイス制度を考えるフリーランスの会』が、2024年3月22日から4月5日にかけてWEBにおいて行った実態調査では、7000人を超える事業者から回答が集まり、91.9%の『インボイス制度の見直し・中止』を望む声が上がっています。消費税の負担・価格の転嫁については、インボイス登録事業者の6割が「負担軽減措置のある間に対応できるが、その後の目処がたたない。」「負担が大きく、事業が成り立たなくなりそうだ。」などと回答し、将来に不安を抱える事業者が出ていることが浮き彫りになりました。

物価上昇の影響による節約志向で消費が低迷している中でのインボイス制度は、中小企業の経営を圧迫し、景気回復を妨げる要因であり、消費税インボイス制度は速やかに廃止すべきであると思います。新型コロナ危機を克服し、新しく構築すべき経済・社会においても、地域に根ざして活動する中小業者の存在は不可欠であります。

以上の趣旨から「消費税インボイス制度の廃止を求める意見書」を提出いたします。

令和6年 月 日

内閣総理大臣 岸田 文雄 殿

財務大臣 鈴木 俊一 殿

長崎県長崎市議会議長